

科目名		授業形態	担当教員名	
神経眼科Ⅱ		講義	谷口 誠典	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
核・核下性疾患、核上性疾患、眼振について、脳神経の走行や血管などできるだけ多くのイラストを描きながら、複雑な神経や血管の走行をわかりやすく解説し病態生理を説明します。				
授業の到達目標				
各疾患の病態生理を理解することを目的とし、以下を到達目標とする。 ①瞳孔の観察を实践できる。（直接・間接対光反射、交互対光反射試験） ②各单元ごとに配布する練習問題で要点を理解する。 ③国家試験過去問題を解くことができ、国家試験問題の出題傾向を掴む。				
授業計画				
回	内容			
1	斜視特殊型（Duane症候群、Brown症候群）			
2	斜視特殊型（固定斜視、眼窩吹き抜け骨折）			
3	眼瞼・顔面表情筋の障害			
4	自律神経、脱神経過敏性の獲得、light-near dissociation、瞳孔の観察【演習】			
5	瞳孔疾患（Horner症候群）			
6	瞳孔疾患（瞳孔緊張症）			
7	瞳孔疾患（動眼神経麻痺、Argyll Robertson症候群、その他）			
8	眼球運動の種類、PPRF症候群			
9	MLF症候群、One and a half症候群			
10	Parinaud症候群、double elevator palsy			
11	輻輳の障害			
12	開散の障害			
13	先天眼振（狭義の）			
14	先天眼振（眼振阻止症候群、潜伏眼振）			
15	後天眼振、眼振の記載			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト	0%	分野ごとに小テストを実施するが、評価には含まない。自己理解を深めるために実施する。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学第2版	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				